

市立川西病院の改革について

(仮称)「川西市立総合医療センター」構想(案)

1 新病院の診療機能

(1) コンセプト

市民が安心して暮らせる医療体制の整備

ア 地域包括ケアシステムの推進のため、急性期病院としての役割を担います。

イ 医療の圏域内完結率の向上を図るため、高度急性期病院としても一定の役割を担います。

ウ 小児・周産期・救急などの政策医療を提供します。

エ 山下駅周辺に急病センターを整備し、市北部地域の住民の医療ニーズに対応します。

(2) 名称

(仮称)川西市立総合医療センター

キセラ川西センター 整備場所 キセラ川西内医療ゾーン

10,534m²

北部急病センター 整備場所 案① 能勢電鉄山下駅前の民間所有地

案② 現市立川西病院の暫定利用

(3) キセラ川西センター

ア 診療科目(26診療科、8専門センター)

総合診療科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液腫瘍内科、神経内科、緩和ケア外科、精神科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、小児科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、放射線科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科

救命救急センター、消化器センター、循環器センター、脳卒中センター、周産期センター、乳腺センター、生活習慣病センター、オンコロジーセンター

イ 病床数(400床)

一般病棟(入院基本料7対1)、ICU(集中治療室)、CCU(冠動脈集中治療室)、SCU(脳卒中集中治療室)、HCU(高度治療室)等

ウ 診療スタッフ

医師80人程度、看護職員400人程度、医療技術職100人程度

(4) 北部急病センター

ア 診療科目 内科、整形外科、小児科

イ 施設内容 診察室4室、観察室8床、薬局、X線撮影室、検査室等

ウ 診療スタッフ 医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等

※上記(3)、(4)についての具体的な内容は、医療センター基本構想の中で検討する。

2 運営

(1) 指定管理者制度を導入する。指定管理者は公募とする。なお、指定管理期間は、平成31年からの現病院での経営期間に、新病院開設後20年間を加えた期間とする。

(2) 指定管理者の選定基準

ア 新病院のコンセプトに掲げる良質な医療を提供すること。

イ 病院事業管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有していること。

ウ 新病院に必要な一般病床の提供が可能であること。

エ 市立川西病院を退職して引き続き再就職を希望する職員を優先的に採用すること。

オ 指定管理後に社会医療法人化をめざすこと。

3 施設計画・事業費

(1) キセラ川西センター

ア 構造規模 鉄筋コンクリート造(免震構造)、延床面積約36,000m²(駐車場部分含む)

イ 屋外施設 駐車場、タクシー乗り場

ウ 主な設備 手術室、外来化学療法ベッド、MRI、CT、血管造影撮影装置、核医学装置、結石破砕装置 他

(2) 北部急病センター

ア 構造規模 鉄筋コンクリート造平屋、延床面積約1,000m²

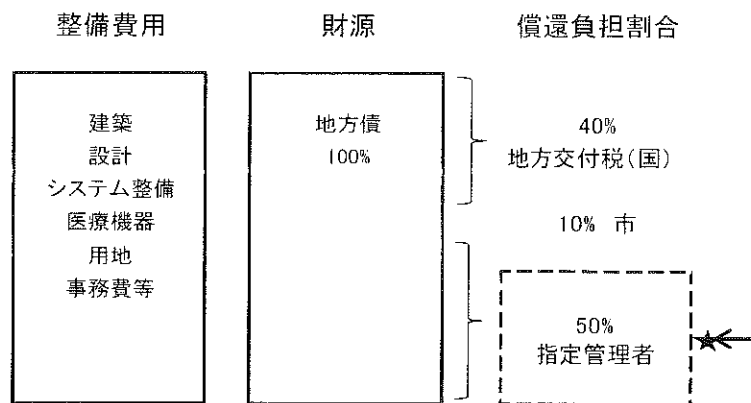
イ 屋外施設 駐車場

(3) 事業費

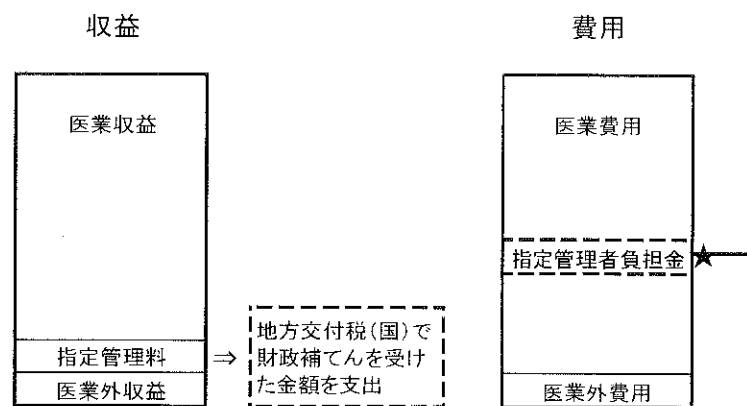
	キセラ川西センター	北部急病センター	
建物	80.0億円	4.5億円	
OAシステム	12.0億円	1.0億円	
設計、監理等	7.4億円	0.5億円	
医療機器	40.0億円	10.0億円	
用地取得	17.0億円	3.6億円	
合計	156.4億円	19.6億円	合計 176.0億円

4 新病院財源フレーム

新病院整備財源



病院運営費用(指定管理者制度導入後)



5 新病院の課題

- (1) 指定管理者制度の移行に伴う現市立川西病院職員の処遇
- (2) 猪名川町、能勢町、豊能町からの費用負担
- (3) 北部急病センター予定地の調整
- (4) 大学医局からの医師の継続的な派遣

6 スケジュール

	H29年度				H30年度				H31年度				H32年度				H33年度			
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
指定管理	川西市立総合医療センター構想案発表 指定管理者公募準備				指定管理者募集 指定管理者決定				現市立川西病院での指定管理者制度開始								川西市立総合医療センター開設			
懇話会	地域医療懇話会 5~10月																			
建設	用地取得				医療センター基本構想1~5月 パブコメ 入札				医療センター基本設計・実施設計4~12月				医療センター建設工事(18か月)							